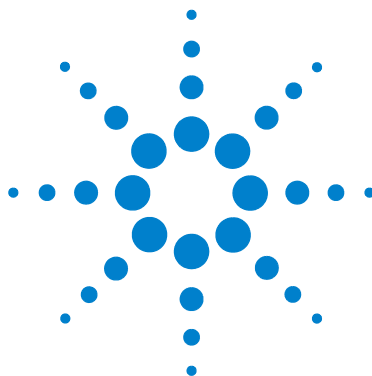




Agilent G1888 Network Headspace Sampler

安全および規制に
関する情報



Agilent Technologies

注意事項

© Agilent Technologies, Inc. 2004

アメリカ合衆国著作権法および国際著作権法に定められているとおり、本書のいかなる部分も、Agilent Technologies, Inc. による事前の合意および書面による承諾なしに、いかなる形態であれ、いかなる方法によっても（電子記憶装置および検索、または外国語への翻訳を含む）複製することはできません。

マニュアル製造番号

G1888-96013

版

第 1 版（2004 年 3 月）

Printed in USA

Agilent Technologies, Inc.
2850 Centerville Road
Wilmington, DE 19808-1610

保証

本書の内容は「現状のまま」提供され、今後予告なしに変更されることがあります。さらに、Agilent は、適用法上許容される最大限において、明示的または黙示的にかかわらず、本書および本書に含まれるあらゆる内容についていかなる保証（商品性および特定の目的のための適合性に関する黙示の保障を含む）も与えるものではありません。Agilent は、本書および本書に含まれるあらゆる内容の支給、使用、または実施に関連して生じた付随的損害、派生的損害または間接的損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。Agilent とユーザー間に、本書の内容を対象とした保証条件に関する別個の契約書があり、上記の条件と異なる場合、別途定めた契約書の条件を適用します。

安全上の注意事項

注意

注意に関する記載事項は、危険を表します。正確に実行または順守しないと、製品の損傷や重要なデータの消失を引き起こす恐れがある操作手順や実行方法などに対して注意を促します。当該状況を把握し、対処するまで、注意に関する記載事項を無視して続行しないでください。

警告

警告に関する記載事項は、危険を表します。正確に実行しない、または順守しないと、けがや生命の危険を引き起こす恐れがある操作手順や実行方法などに対して注意を促します。示された状態を完全に理解し、対処するまで、警告に関する記載事項を無視して続行しないでください。

安全上の重要な警告事項

次に進む前に、Headspace Sampler を使用するときには必ず念頭に置くべき安全上の重要な警告事項を以下に記載します。

本装置内部の多くの部分には高電圧がかかっています

本装置が電源に接続されている場合、スイッチが入っていないくとも以下の部分には高電圧がかかっている恐れがあります。

- 本装置の電源コードと AC 電源間の配線、AC 電源、および AC 電源から電源スイッチまでの配線

電源スイッチが入っている場合には、以下の部分には高電圧がかかっている恐れがあります。

- 装置内のすべての電子基板
- これらの電子基板に接続されている内部配線やケーブル
- オープンなどのヒーター用のワイヤー

警告

このような部分はすべてカバーで覆われ、保護されています。適切にカバーで覆われている場合には、誤って高電圧に触れることはまずありません。特に指示のない限り、加熱部の電源を切らずにカバーを絶対に外さないでください。

警告

電源コードの絶縁体が擦り切れていたり磨耗している場合は、必ず交換してください。その場合、Agilent のサービス担当までご連絡ください。

装置の電子部品にとって静電気放電はきわめて危険です

静電気放電によって装置内のプリント（PC）基板が破損する恐れがあります。やむを得ない場合を除き、どの基板にも触れないでください。基板に触れる必要がある場合には、接地リストストラップを着用したり、その他の静電気防止策を講じてください。電子装置のカバーを取り外すときには接地リストストラップを必ず着用してください。

多くの部品が高温となっています

本装置の多くの部分は高温で作動しており、重度の火傷を負う危険があります。このように高温となる部分には以下などがあります。

- カルーセルとその内容物
- サンプルプローブ / ループアセンブリ

本装置のこれらの部分を必ず室温まで冷ましてから、作業に取りかかってください。高温となる部分の温度を最初に室温に設定しておく、と、温度が速く低下します。設定温度に到達したら、その部分の電源を切ります。高温になっている部分のメンテナンスが必要な場合は、レンチを使用するか手袋を着用してください。可能な場合には、本装置のメンテナンスを行う部分の温度を下げてから、作業してください。

警告

装置の背後で作業する場合は注意が必要です。冷却中にこの装置から排出される高温のガスによって火傷する恐れがあります。

ガス

- 可燃性のキャリアガスは使用しないでください。
- Headspace Sampler 内では水素をキャリアガスとして使用しないでください。水素は作動中または待機中のガス抜きによって爆発する危険があります。
- 圧縮ガスを使用する際は保護メガネを着用し、目を怪我しないようにしてください。
- 圧縮ガスのボンベはすべて固定構造物や常設壁にしっかりと取り付けてください。
- 圧縮ガスの保管および取り扱いは、該当する安全規定に従って行ってください。
- GC オープンの排気孔など高温の空気が流れる場所にガスボンベを置かないでください。

一般的な警告事項

- 補給ライン、取付具、空圧配管系に漏れはないかを定期的にチェックし、危険な状態にならないようにしてください。
- 漏れの検出に溶液を使用する場合は、主電源スイッチを切ったうえ主電源コードを抜き、感電しないようにしてください。導線に溶液をこぼさないように注意してください。

「安全および規制に関する認可」(Safety and Regulatory Certifications)

Headspace Sampler は、以下の安全基準に準拠しています。

- Canadian Standards Association (CSA):C22.2 No. 1010.1
- CSA/Nationally Recognized Test Laboratory (NRTL):UL 61010A-1
- International Electrotechnical Commission (IEC):61010-1
- EuroNorm (EN):61010-1

本装置は、電磁適合性 (Electromagnetic Compatibility: EMC) および無線周波妨害 (Radio Frequency Interference: RFI) に関する次の規制を遵守しています。

- CISPR 11/EN 55011:Group 1、Class A
- IEC/EN 61326
- AUS/NZ 

この ISM 装置は、Canadian ICES-001 に準拠しています。Cet appareil ISM est conforme a la norme NMB—001 du Canada.



本装置は、ISO 9001 に登録されている品質システムに基づき設計、製造されています。

通知

Agilent Technologies Headspace Sampler は、次の IEC (International Electrotechnical Commission) の等級に対応しています。Safety Class I、Transient Overvoltage Category II、Pollution Degree 2

本装置は公認の安全基準に準拠して設計、試験されています。また、本装置は室内での使用を目的として設計されています。メーカーが定めた以外の方法で本装置を使用した場合、十分な保護機能が提供できなくなる恐れがあります。Agilent Headspace Sampler の安全保護機能が損なわれた場合は、すべての電源から本装置を外し、本装置が偶発的に作動しないようにしてください。

修理については、資格を保有するサービスマンにご連絡ください。代替部品を使用したり、不当な改造を本装置に行ったりすると、お客様に危害が及ぶ恐れがあります。

記号

本装置の操作、点検、修理を行っている間は、本書に記載されている警告および本装置上に表示されている警告を必ず守ってください。これらの注意事項を守らないと、設計上の安全基準を侵害したり本装置の用途に反することになります。お客様がこれらの要件に従わなかった場合、Agilent Technologies は一切責任を負いません。

詳細については、添付の注意事項を参照してください。



高温となる表面を示しています。



高電圧を示しています。



アース端子（接地）を示しています。



爆発の危険性を示しています。



静電気放電の危険性を示しています。



電磁適合性

本装置は、CISPR 11 の諸要件に準拠しています。運用には以下の2つの条件を満たすことが必要です。

- 1 本装置によって有害な干渉が発生しないこと。
- 2 本装置は受信したいかなる干渉（好ましくない動作を引き起こすものも含む）にも対応できること。

本装置によってラジオの受信またはテレビの視聴に有害な干渉が発生したかどうかは本装置の電源をオン・オフすることで確認できます。このような干渉が発生した場合は以下の対処法をいくつか試してください。

- 1 ラジオまたはアンテナの位置を変える。
- 2 本装置をラジオまたはテレビから離す。
- 3 本装置のプラグを別のコンセントに差し込み、テレビまたはラジオとは違う電気回路を使用する。
- 4 すべての周辺機器も認定装置であることを確認する。
- 5 適切なケーブルを使用して本装置と周辺機器が接続されていることを確認する。
- 6 設備ディーラー、Agilent Technologies またはベテラン技術者に相談し、支援を求める。
- 7 Agilent Technologiesからの許可を特に受けずに変更を加えたり改造を行うと、本装置を使用するユーザーの権限が無効になることがあります。

「ドイツ連邦共和国での騒音放出認可」(Sound Emission Certification for Federal Republic of Germany)

音圧

DIN-EN 27779 準拠音圧 $L_p < 70 \text{ dB(A)}$
(型式試験)

Schalldruckpegel

Schalldruckpegel $LP < 70 \text{ dB(A)}$ nach DIN-EN 27779 (Typprüfung).

フューズ

正しく動作させるためのフューズの要件を表 1 に示します。
Agilent のサービスマン以外はこれらのフューズに触れないでください。

表 1 フューズ

フューズ記号	場所	フューズの定格および種類
F2、F3	電気系モジュール	10A 250V、ガラス管
F3	トランス近接端子	8A 250V、ガラス管
F3、F4	配電盤	6A 125V、ガラス管
F1	配電盤	1A 250V、ガラス管

クリーニング

本体をクリーニングするには電源を切り、糸くずの出ない布を湿らせて拭いてください。

本製品のリサイクル

リサイクルについては、お近くの Agilent 営業所までお問い合わせください。



Agilent Technologies

© Agilent Technologies, Inc.

Printed in USA, March 2004



G1888-96013